

## 「おうちでごはんの日」の設定と普及

愛知県食育推進会議

### 【概要】

平成19年5月30日の会議において、「食育の日」にあわせて毎月19日を「おうちでごはんの日」として設定し、家族や友人と一緒にきちんとした食事をとることを進めています。県庁や各地域の県総合庁舎では、毎月19日に職員や来庁者に対して庁内放送で呼びかけるとともに、6月7日の「みんなで進めよう あいちの食育県民大会」では参加者約2,000名にPRちらしを配布しました。また、6月30日には東海テレビの番組「リポート愛知」の中で呼びかけたり、インターネット上の「食育ネットあいち」に掲載しているほか、ポスターを作成・配布するなどして「おうちでごはんの日」の普及に努めました。



PRポスター

### 【成果や今後の対応等】

「おうちでごはんの日」の周知は十分とは言えないと思われませんが、今後とも啓発資料の作成・配布や交通広告などを活用しながら一層の普及に努めていきます。

## 愛西市立佐織中学校「思いやりと感謝の心をはぐくむ食の指導」

愛知県小中学校長会

### 【概要】

愛西市の佐織中学校は、平成18年度から全校生徒・職員が一堂に会すことのできるランチルームにおいて、対面式のカウンターで調理員から給食を受け取ります。恵まれた設備が整う一方で、食の荒廃は心の荒廃に通じるという考えから“思いやり”と“感謝”の心の育成をめざした食の指導に取り組みました。



【対面式のカウンター】

#### ① 食に関する学習

2年生の総合的な学習で、日本や世界の食料事情を把握し、昔の生活や戦時中の食料事情についても地域の人にインタビューしました。

#### ② ランチルームを活用した取組

調理員や学校栄養職員などから話を聞いたり、食と健康に関する生徒集会を開きました。地域の赤ちゃんとお母さんとの交流会では、離乳食を作ったり、会食をしたりして地域の人と交流しました。職員の食に関する川柳コンクールに於いて、生徒からも「4時間目チャイムのかわりに腹が鳴る」、「いただきますは感謝の気持ちの合い言葉」などの作品が出されました。

#### ③ 地域・保護者への啓発活動

2年生の総合的な学習の時間に、家庭向け「食の新聞作り」を行い、前述のインタビューや生徒の自主学習の成果を家庭に発信しました。

### 【成果や今後の取組等】

この取組を通して生徒の食に関する興味や関心が高まり、感謝の気持ちも徐々に育まれています。今後も、食を通して相手を思いやる心の育成を課題に継続し実践していきます。

## 高浜市立港小学校PTA「ふれあいサンデー そば打ち体験道場」

愛知県小中学校PTA連絡協議会

### 【概要】

高浜市の港小学校は、地域と子どもたちとの活動がとても盛んなところで、地域のイベントに学校ぐるみで積極的に参加しています。平成19年11月18日には、PTAと「おやじの会」が協力してそば打ち体験道場を開催し、親子50人が参加しました。

そば打ち体験は好評で、普段なかなか体験することができないことから、少しでも多くの人に体験してもらいたいと4回目の開催となりました。



まずは生地づくり

### 【成果や今後の取組等】

親子で協力して作った手打ちそばは、少し太かったり、短くなったりしたところもありましたが、それでも手作りの味は格別で、参加者は持参したつゆや薬味を手で舌鼓をうちながら親子で楽しい時を過ごしました。今後も、親子で食の体験ができる機会をつくっていきます。



なれない手つきでそばを切る  
おとうさん

## 名古屋市立第一幼稚園「屋上での野菜づくり」

愛知県国公立幼稚園長会

### 【概要】

名古屋市の第一幼稚園は、名古屋市の都心にあり、ビルに取り囲まれているため、日当たりが十分とはいえませんが、園舎の屋上を活用して親子で野菜の栽培活動を行っています。土づくりや水やりを親子で行い、収穫の時には子どもたちが目を輝かせながら歓声を上げます。収穫した野菜を使って年長の子どもたちがカレーをつくり、年少の子どもたちもいただきました。



親子で土づくり



収穫の喜び



年長の子どもがつくった野菜カレーを  
食べる年少の子どもたち

### 【成果や今後の取組等】

親子で野菜の栽培し、調理や食事をしながら、親子でコミュニケーションを図ることができました。子どもたちも友達と活動することで共通体験ができ、“一緒”の楽しさを味わうことができました。今後も親子の栽培活動を通して楽しい雰囲気をつくりだし、食べることに関心を持ち続けるようにしていきます。

## 幸田町立豊坂小学校「町特産の長なすで安全でおいしい料理づくり」

愛知県小中学校長会

### 【概要】

幸田町の豊坂小学校は、5年前から農家の協力で全校あげて町特産の長なすを育てています。平成19年度は6年生が中心になり、地産地消を地域へ広めていくことも視野に入れながら無農薬栽培に挑戦しました。6年生と1年生がペアになって苗を植え、ナメクジを手で取ったりしながら収穫を迎えました。収穫したなすは、6年生が料理して1年生が審査するコンクールを2回開いたり、給食センターで調理して給食で食べました。



「なすおじさん」の指導で苗を植える1年生と6年生

11月の町産業まつりでは、「無農薬・安全・生産者の顔が見える」をキーワードになすを使ったクッキーやサンドイッチを売り出したところ、短時間で完売し、児童は売る喜びも味わいました。

### 【成果や今後の取組等】

なすの栄養面についても学習するため、地域の中で指導者を探すなどしながら、この取組を継続していきます。



「ナスおばさん」の指導で調理

## 名古屋市立鳥羽見小学校「大豆の栽培活動と学校給食への活用」

愛知県小中学校長会

### 【概要】

名古屋市の鳥羽見小学校は、児童に朝食を食べなかったり偏食が目立つことなどから、食への関心を高め、望ましい生活習慣の大切さを伝えて健康な生活を実践する力を育てるために、総合的な学習の時間を活用して外部講師や栄養教諭の協力を得ながら、大豆の栽培や豆腐・みそづくりを行いました。また、独自の献立を考えて給食に取り入れました。

### 【成果や今後の取組等】

この取組により、児童の食への関心を高めることができました。また、給食の残菜量が少なくなってきたことは、独自献立と子どもたちの活動が結びついた成果であると考えています。調査では、6時半までに起きる子が13%から47%に、朝ごはんを食べる子が89%から97%になりました。今後も家庭・地域と学校が連携をして取り組んでいきます。



## 平成19年度学校給食調理コンクールを開催

財団法人愛知県学校給食会

### 【概要】

衛生的で安全な食事内容の充実と献立の多様化を図り、調理技術の研さんと意欲の高揚に資するため、愛知県教育委員会との共催で平成19年8月10日に愛知県学校給食総合センター(豊明市)で平成19年度学校給食調理コンクールを開催しました。



出来上がりの状態と味の審査

### 【成果や今後の取組等】

自由献立は「あったらいいな!こんな給食」をテーマに子どもたちが考えたユニークなアイデア料理、課題献立は地元の農産物を活用し、効果的に取り入れるなど食育の啓発に大きな成果をあげました。

今後はこの成果を基に食育の推進と学校給食の充実・発展を図ります。



最優秀賞 江南市立北部学校  
給食センターチーム

## 体験型食育企画への参加が大きく広がりました。

名古屋勤労市民生活協同組合

### 【概要】

様々な体験型食育企画を行っていますが、平成19年度にJAと協働で行った田植え・かかしづくり・稲刈り体験には、今年の倍の1,500人が参加しました。

また、産地工場見学には2,200人、ブルーベリーのオーナー企画には4,800人の参加があり、生産者などとの交流が大きく広がりました。このほか、豊橋の生産者、JAあいち経済連、コーミ(株)と生協で県産加工トマトを使って開発した「旬のもぎたてトマトケチャップ」づくり、「子どもたちの初めてクッキング」など食を考える企画もたくさん実施しました。

なお、日本生協連の通信型食育プログラム「たべる\*たいせつキッズクラブ」には当生協から85人が参加し、子どもたちの通信に返事を書くため、食育担当理事、愛知県食育推進ボランティアの組合員、結いのメンバー、サポーターなど10人で対応しています。



田植え体験の様子



「かかしづくり」の作品

### 【成果や今後の取組等】

参加者から「子どもが初めて稲からお米ができることを知り、田植えをした日からご飯を残さなくなった。」「私も夫も、生産者の苦勞を知り頭が下がる思いです。」といった感想が多く出され、食の大切さ、作ることの大変さに理解が深まりました。

今後は、もっと気軽に参加できる場を広げたり、多様なメニューを用意して一層参加できるようにしていきます。

## 「親子で体験！いも掘り&牛舎探検ツアー」を実施

日本チェーンストア協会中部支部

### 【概要】

ユニー株式会社では、JAあいち海部と協力して親子で地元の農場での収穫体験や牛舎での牛とのふれあい、また生産者との交流を通して、食・農業への理解を深め、食育への関心を高めることを目的として、平成19年12月8日に親子20組40名が参加して「親子で体験！いも掘り&牛舎探検ツアー」を実施しました。



生産者の説明の後、いも掘り体験

### 【成果と今後の取組等】

参加者から「実際に体験することで、親子で食の大切さについて考えた」という意見が多く聞かれました。親子で共通の体験をすることで、家庭での食育を進める良い機会になったと実感しています。これからも今回の成果を生かし、さらなる食育推進の企画を実施します。



子牛とのふれあい体験

## 畜産フェスタにおける牛とのふれあい

愛知県酪農農業協同組合

### 【概要】

平成19年10月20日から21日まで愛知県畜産総合センターで開催され畜産フェスタにおいて、子どもを中心とする搾乳体験やほ乳体験等を実施しました。この取組は、牛乳を飲む時に農家の顔や牛たちを思い出せる、そんな感動を子供たちに持ってほしいと実施したもので、岡崎市を中心に500名以上の参加がありました。



搾乳体験の様子

### 【成果や今後の取組等】

参加者からは「牛って暖かい。」などの感想があり、日常飲んでいる牛乳がどんな経路で生産されているかという面から、食を通じたコミュニケーション、体験を通じた食の理解促進に大きな成果をあげました。

今後はこの成果を基により多くの方に牛と接する機会をつくるように図ります。



ほ乳体験の様子

## 青年女性部による消費者交流会の開催

愛知県酪農農業協同組合

### 【 概 要 】

愛知県酪農農業協同組合青年女性部は、一般の女性を対象にして平成19年11月23日・24日に愛知県畜産総合センターと岡崎市や新城市作手において消費者交流会を開催しました。これは、女性の酪農や牛乳への思いや牛乳の生産現場について、生産者と交流する事によって相互に理解を深めることを目的に実施したものです。西三河地域を中心に14名の参加があり、ウインナー作り体験、牛乳料理の試食、牛とのふれあいや搾乳体験などを行いました。



搾乳方法を学ぶ参加者

### 【成果や今後の取組等】

参加者からは「牛を身近に感じる事ができた」などの感想があり、牛乳生産の面から、生産者と参加者とのコミュニケーション、体験を通じた食の理解促進に大きな成果をありました。今後もこの成果を基に、より多くの人に牛と接する機会をつくるように努めていきます。



牛の扱いに苦勞する参加者

## 大学で都市・漁村青年交流促進事業を実施

愛知県漁業協同組合連合会

### 【 概 要 】

愛知県漁業士協議会と愛知県漁協青年部連絡協議会の協賛により、平成6年から都市の若い人たちに漁業や漁村に対する理解を促し、地元の魚介類のPRを目的として都市・漁村交流促進事業を実施しています。平成19年度は、椙山女学園大学生生活科学部管理栄養学科の学生10名を対象として、知多地区の漁業者6名が魚のさばき方と調理の指導を行いました。

料理：スズキ・マダイの刺身、マダコ・シャコ・ガザミの茹で物  
キス・クルマエビのフライ、カレイの煮物、タイ飯、  
ガザミのみそ汁

### 【成果や今後の取組等】

参加者は、新鮮な魚介類のおいしさと地元で漁獲された食材であることに大変驚いていました。今回参加した学生は、ほとんどが管理栄養士になる人たちであり、この体験を将来に活かしてくれることを確信しています。



漁業士によるさばき方のデモンストレーション



試食風景

## 「愛知を食べる学校給食の日」の実施

愛知県教育委員会

### 【概要】

6月が「食育月間」であり、毎月19日が「食育の日」であることから、平成19年6月19日を中心として各市町村で収穫される食材を使用した「愛知を食べる学校給食の日」の実施を呼びかけました。これは、児童生徒や教職員、保護者等が地域や県産物への理解を深め、地域に伝わる食文化や食の加工技術にふれることにより、地域を身近に感じ、より豊かな食生活を営もうとする意欲を促す機会とすることを目的としています。県内の全小中学校1,398校が取り組み、約64万人の児童生徒が県内産や地域でとれた産物を活用した給食を食べました。



PRポスター

### 【成果や今後の対応等】

「愛知を食べる学校給食の日」には全小中学校が取り組み、中には食材だけではなく給食の時間に地域の農業者を招いて話を聞く機会を設けた学校もあり、児童生徒が地域の食材を通じて食べ物や地域への関心を深めるよい機会になりました。今後も学校における食育の一つとして学校給食での地場産物の活用を進めていきます。



平成19年6月22日春日町立春日小学校  
「知事と子どもの会食会」

## 「農とくらしの研究発表大会 2008」を開催

農村輝きネット・あいち

### 【概要】

農村輝きネット・あいちは、グループ員732名の農村女性の団体で、農村に伝わる伝統文化や郷土料理を子どもたちや地域の人々に伝承するなどの活動を行っています。平成20年1月23日に岡崎市にある県立農業大学校で県内のグループ員が一堂に会する「農とくらしの研究発表大会2008」を開催し、活動発表や表彰式などを行いました。



知事賞受賞の大野瀬の発表の様子

### 表彰結果

賞	グループ名
愛知県知事賞	大野瀬
愛知県議会議長賞	岡崎市グリーンレディース
愛知県農業改良推進協議会長賞	暁グループ
愛知県農業会議会長賞	輝きネット・甚目寺
農村輝きネット・あいち会長賞	輝きネット・鳳来



岡崎市グリーンレディースの発表の様子

### 【成果や今後の取組等】

この大会を通じて、グループ員相互が優れた活動状況を知って自分たちの活動を見直し、今後の活動を充実させるよい機会となりました。